

# 奉仕活動実践41年間

## 静岡英和中・高母の会委員会

静岡英和女学院中・高生の母親でつくる「母の会委員会」は1975年から41年間、保護者も同校の建学の精神「愛と奉仕の精神」を実践しようと、奉仕活動を実施している。7日には保護者16人が、静岡市駿河区の特別養護老人ホーム小鹿苑で活動に取り組んだ。



## 「保護者全体に広げたい」

奉仕活動は月に1度、母親有志が施設を訪れ、入所者のベッドカバーを交換したり、バザーや参観日に集めたタオルやシャツなどを高齢者施設に「あて布」として寄贈したりしている。

この日は、参加者が2人一組で声を掛け合いながら、施設利用者が使っているシャツを交換したほか、布団を干した。

8月の奉仕活動には父親2人も参加した。同委員会の石井美奈子委員長は「これまでは母親中心に取り組んできたが、保護者全体に活動の輪を広げていきたい」と話した。

（社会部・菊地真生）

シャツ交換に汗を流す保護者ら

|| 静岡市駿河区の小鹿苑

